

2024年3月期第2四半期決算の概要

2023年11月8日
東レ株式会社

I. 2024年3月期第2四半期決算の概要	2
II. 2024年3月期連結業績見通し	16
III. 参考資料	20

I

2024年3月期第2四半期決算の概要

2024年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	24年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	6,559	6,213	-346 (-5.3%)	12,618	11,994	-624 (-4.9%)
事業利益	273	268	-5 (-2.0%)	544	487	-58 (-10.6%)
(売上収益事業利益率)	4.2%	4.3%	+0.1 ポイント	4.3%	4.1%	-0.3 ポイント
非経常項目	▲44	▲31	+13	194	▲42	-236
金融収益及び費用	▲6	▲30	-25	16	▲24	-40
持分法による投資利益	54	33	-21	95	69	-26
税引前四半期利益	278	239	-39 (-14.0%)	850	490	-360 (-42.4%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	192	149	-43 (-22.3%)	591	289	-302 (-51.2%)

<為替レート>

	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	24年3月期 第2四半期 (7~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	
円/US\$	期中平均	138.4	144.6	134.0	141.0
	期末	144.8	149.6		
円/ユーロ	期中平均	139.3	157.3	138.7	153.4
	期末	142.3	158.0		

非経常項目

億円

	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	24年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
固定資産売却益	1	5	+5	2	8	+6
子会社の支配喪失に伴う利益*1	-	-	-	251	-	-251
固定資産処分損	▲ 9	▲ 18	-8	▲ 14	▲ 26	-12
減損損失	▲ 2	▲ 1	+1	▲ 11	▲ 6	+5
製品保証費用*2	▲ 35	▲ 18	+16	▲ 35	▲ 18	+16
その他	0	-	-0	0	-	-0
非経常項目	▲ 44	▲ 31	+13	194	▲ 42	-236

*1 ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社 Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合弁会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立したことによる投資の再評価益。

*2 「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性があるものについて、その交換、補修等のために必要な費用。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	23年3月末	23年9月末	増減
資産合計	31,940	34,163	+2,223
流動資産	14,293	15,157	+865
有形固定資産	10,078	10,666	+588
その他	7,569	8,340	+771
負債合計	15,582	16,179	+597
流動負債	8,262	8,949	+687
非流動負債	7,320	7,230	-90
資本合計	16,358	17,984	+1,626
自己資本*	15,350	16,933	+1,583
自己資本比率*	48.1%	49.6%	+1.5ポイント
有利子負債残高	9,501	9,860	+359
D/Eレシオ	0.62	0.58	-0.04

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	199	663	+464
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 478	▲ 580	-102
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 280	83	+362

*自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
設備投資額	424	551	+128
東レ	122	86	-36
連結子会社	302	466	+164
減価償却費	649	650	+1
東レ	175	168	-7
連結子会社	474	482	+8
研究開発費	330	328	-1
東レ	237	227	-10
連結子会社	93	101	+8

主な設備投資案件

Toray Advanced Materials Korea Inc.	: PPS樹脂生産設備、炭素繊維生産設備
Zoltek Companies, Inc.	: 炭素繊維生産設備
Toray Composite Materials America, Inc.	: 炭素繊維生産設備

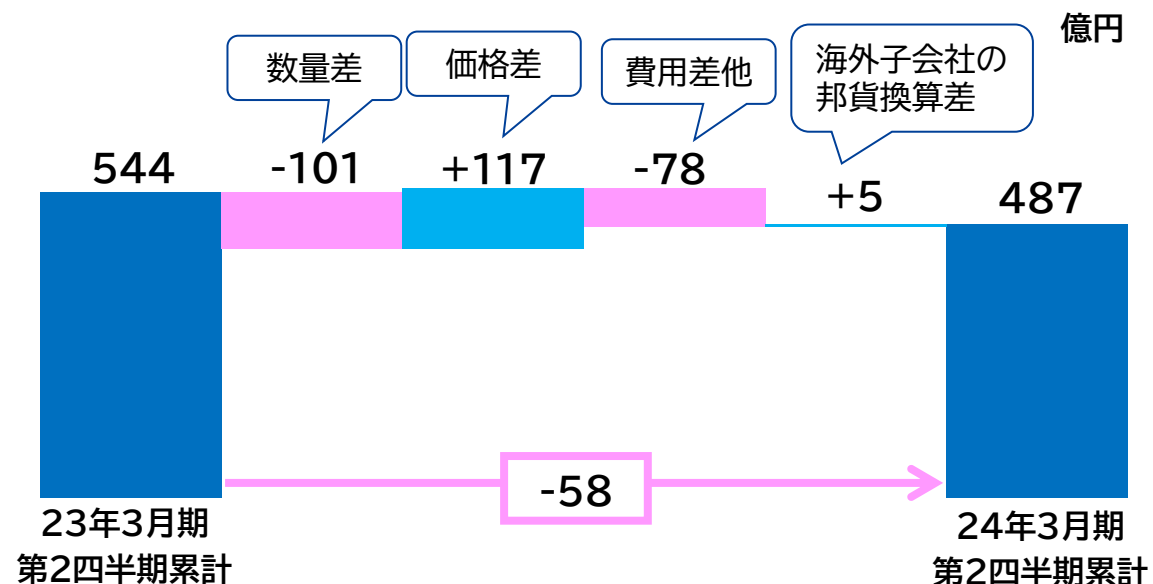
セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

億円

		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
売上収益	繊維	5,090	4,812	-278	(-5.5%)
	機能化成品	4,733	4,331	-402	(-8.5%)
	炭素繊維複合材料	1,400	1,411	+12	(+0.8%)
	環境・エンジニアリング	1,061	1,115	+55	(+5.2%)
	ライセンス	259	248	-11	(-4.3%)
	その他	75	76	+0	(+0.6%)
	合計	12,618	11,994	-624	(-4.9%)
事業利益	繊維	239	272	+33	(+13.9%)
	機能化成品	251	145	-106	(-42.2%)
	炭素繊維複合材料	56	76	+20	(+35.9%)
	環境・エンジニアリング	83	102	+19	(+23.3%)
	ライセンス	3	▲ 5	-9	(-)
	その他	10	8	-2	(-22.1%)
	調整額	▲ 98	▲ 111	-13	
	合計	544	487	-58	(-10.6%)

< 24年3月期 第2四半期累計 連結業績実績 >

繊維、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリングセグメントが堅調に推移。機能化成品セグメントは、電子情報材料事業で有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られたが、樹脂事業で中国市場の需要減少の影響、フィルム事業で電子部品関連におけるサプライチェーンでの在庫調整の影響を受け、前年同期比減益となった。これらの結果、全社事業利益は487億円となり、前年同期比10.6%の減益となった。

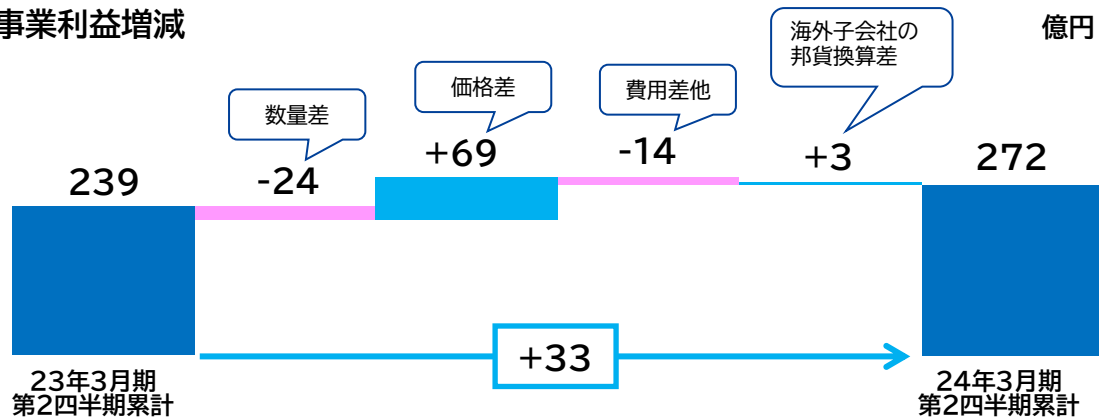


セグメント別業績(繊維)

		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		増減	
売上収益	東レ	1,047	1,070	+23	(+2.2%)		
	国内	2,521	2,335	-186	(-7.4%)		
	海外	3,533	3,258	-275	(-7.8%)		
	修正	▲ 2,010	▲ 1,851	+159			
	計	5,090	4,812	-278	(-5.5%)		
事業利益	東レ	83	72	-11	(-13.7%)		
	国内	45	83	+38	(+85.6%)		
	海外	117	124	+7	(+6.1%)		
	修正	▲ 6	▲ 7	-1			
	計	239	272	+33	(+13.9%)		

億円

事業利益増減



億円

< 概況 >

■ 全般

衣料用途は欧米の市況悪化の影響を受けたが、国内は商事子会社が堅調に推移した。衛材用途は需給バランスの悪化から低調に推移した。産業用途は自動車用途で需要回復が続いたほか、欧州における天然ガス等の価格低下からスプレッドが改善した。

<トピックス>

- 23年8月:
東レ株式会社、日東製網株式会社、マルハニチロ株式会社のグループ会社の大洋エーアンドエフ株式会社の3社は、22年11月に発表した循環型社会の実現と海洋プラスチック問題の解決を目指す「漁網to漁網リサイクル」に、新たに使用済みの漁網(廃棄漁網)を回収原料の一部とするナイロン原糸を使用した漁網を追加し、取り組みを拡大することを発表。一度、操業で使用された廃棄漁網をリサイクルした漁網が実際の漁業で使用されるのは業界初。
- 23年9月:
快適な使い切り防護服リブモア®シリーズに、油の浸透抑制と通気性を両立した耐水・耐油タイプ「リブモア®4300AS」と、JIS T8115* に対応したベーシックモデル「リブモア®1000AS」の2アイテムをラインナップに追加。2023年内の日本国内向け販売開始を予定しており、販売目標は2023年度に合計年間5万着、2025年度に合計50万着。

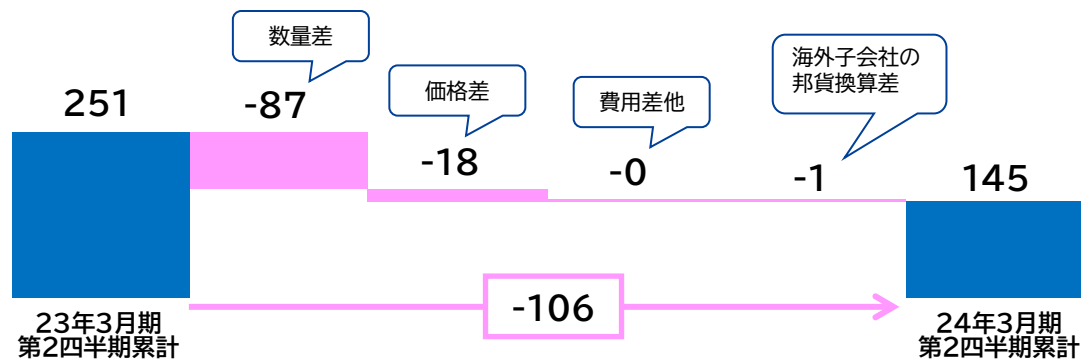
*JIS T 8115 タイプ5 (浮遊固体粉じん防護用密閉服) 及び
JIS T 8115 タイプ6 (ミスト防護用密閉服) に適合

セグメント別業績(機能化成品)

		億円		
		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	1,319	1,133	-186 (-14.1%)
	国内	2,774	2,377	-398 (-14.3%)
	海外	2,928	2,839	-89 (-3.0%)
	修正	▲ 2,289	▲ 2,018	+270
	計	4,733	4,331	-402 (-8.5%)
事業利益	東レ	93	10	-83 (-89.2%)
	国内	123	107	-16 (-13.0%)
	海外	27	27	-0 (-1.5%)
	修正	8	1	-6
	計	251	145	-106 (-42.2%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

- 樹脂事業
中国市場の需要減少等の影響により低調となった。
- フィルム事業
電子部品関連において、サプライチェーンの在庫調整により、需要が減少した。
- 電子情報材料事業
有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られた。

<トピックス>

- 23年8月:
ナノ積層技術の応用により世界最高レベルの薄膜・軽量ミリ波吸収フィルムを創出。従来品対比 厚さ1/5、重さ1/10*を実現。ミリ波モジュールを搭載する5G関連機器の電磁波障害を解消し、機器の軽量化や設計自由度の向上に貢献。
*77GHzを吸収する市販品と10cm角サイズで重量を比較した結果
- 23年9月:
株式会社本田技術研究所と、使用済みの自動車から回収するガラス繊維配合ナイロン6樹脂の部品を亜臨界水で解重合し、原料モノマー(カプロラクタム)に再生するケミカルリサイクル技術に関する共同開発契約を締結し、技術実証を開始。まずは使用済み自動車用樹脂部品を、同じ自動車用材料に再生することを目標とし、エンジン吸気系部品のインテークマニホールドを原料とした解重合やモノマー分離・精製技術の開発を進め、自動車用樹脂部品のケミカルリサイクル技術として、2027年近傍の実用化を目指す。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

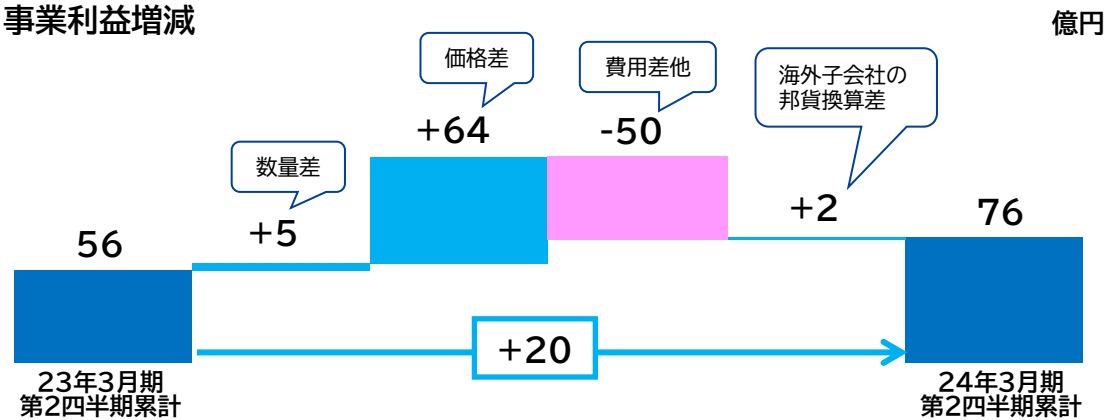
億円

	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	2,123	30%	1,896	30%	-11%
フィルム	1,702	24%	1,606	25%	-6%
電子情報材料	289	4%	313	5%	+8%
商事他	2,907	41%	2,535	40%	-13%
修正	▲ 2,289	-	▲ 2,018	-	-
合計	4,733		4,331		-8%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		億円		
		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	417	471	+55 (+13.1%)
	国内	332	334	+2 (+0.7%)
	海外	1,297	1,378	+81 (+6.3%)
	修正	▲ 646	▲ 772	-126
	計	1,400	1,411	+12 (+0.8%)
事業利益	東レ	54	92	+39 (+71.9%)
	国内	7	4	-3 (-40.9%)
	海外	27	27	-0 (-1.7%)
	修正	▲ 31	▲ 47	-15
	計	56	76	+20 (+35.9%)

事業利益増減



< 概況 >

■ 全般

風力発電翼用途が調整局面となったが、航空宇宙用途の需要が回復傾向となったほか、一般産業用途において压力容器用途が拡大した。

<トピックス>

- 23年7月:
压力容器用途の需要が拡大している米国および韓国において安定的な供給体制の確立を図り、拡大する産業用途のレギュラートウ炭素繊維の需要拡大に対応するため、米国の子会社Toray Composite Materials America, Inc.及び韓国の子会社Toray Advanced Materials Korea Inc.において、レギュラートウ炭素繊維の生産設備増強を決定。東レグループ全体でのレギュラートウ炭素繊維の生産能力を現行の年産2万9千トンから3万5千トンに増強する計画。生産開始は2025年を予定。

炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

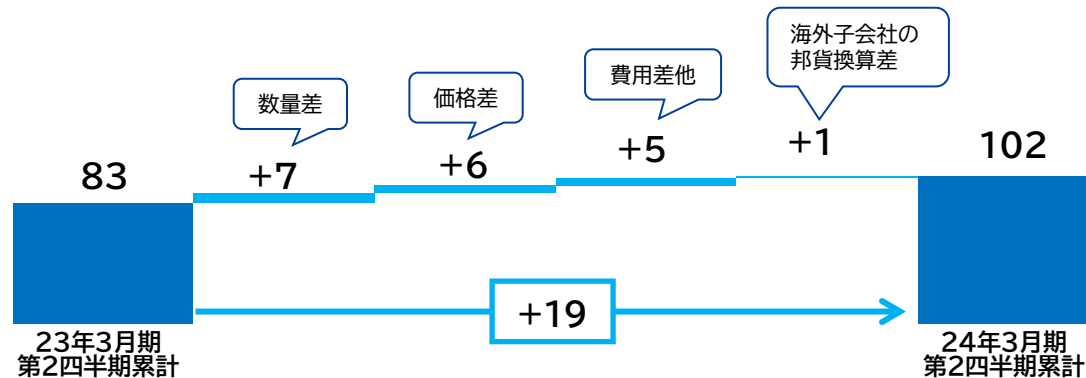
	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	257	18%	395	28%	+54%
スポーツ	197	14%	134	10%	-32%
一般産業	946	68%	882	63%	-7%
合計	1,400		1,411		+1%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

		億円		
		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	178	188	+11 (+6.0%)
	国内	997	1,080	+84 (+8.4%)
	海外	313	341	+29 (+9.1%)
	修正	▲ 427	▲ 495	-68
	計	1,061	1,115	+55 (+5.2%)
事業利益	東レ	11	23	+11 (+99.5%)
	国内	27	31	+4 (+15.3%)
	海外	47	43	-4 (-8.1%)
	修正	▲ 3	4	+7
	計	83	102	+19 (+23.3%)

事業利益増減

億円



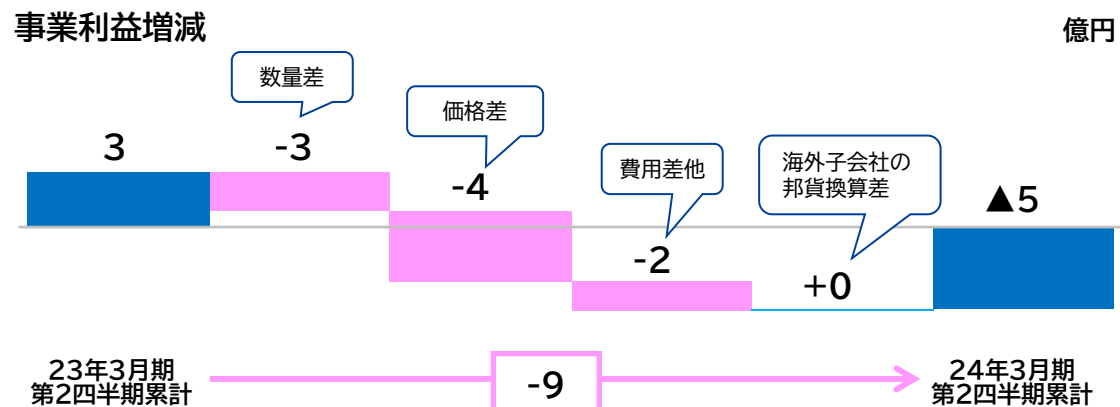
< 概況 >

- 水処理事業
逆浸透膜の2大市場である米中での出荷が堅調に推移した。
- 国内子会社
建設子会社の売上が堅調に推移した。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		増減	
売上収益	東レ	120	119	-2	(-1.5%)		
	国内	208	202	-6	(-3.0%)		
	海外	81	72	-9	(-11.1%)		
	修正	▲ 151	▲ 145	+6			
	計	259	248	-11	(-4.3%)		
事業利益	東レ	▲ 12	▲ 11	+1	(-)		
	国内	9	4	-5	(-56.0%)		
	海外	4	3	-1	(-22.7%)		
	修正	2	▲ 2	-3			
	計	3	▲ 5	-9	(-)		

億円



< 概況 >

- **医薬事業**
経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響と薬価改定の影響を受けたほか、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー®が海外で在庫調整の影響を受けた。
*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。
- **医療機器事業**
透析機器が原燃料価格高騰の影響を受けた。

<トピックス>

- 23年7月発表:
東レが創製したそう痒症改善剤ナルフラフィン塩酸塩口腔内崩壊錠「REMITCH®」について、中国国家薬品监督管理局(NMPA)から、血液透析患者におけるそう痒症の改善(既存治療で効果不十分な場合に限る)を適応症として承認を取得。中国(香港、マカオ、台湾を除く)における本剤の販売および情報提供活動は、3SBio Inc.が行う。2024年前半の販売開始に向けて両社で準備を進める。
- 23年8月発表:
固形がんに対する治療薬として東レが独自に開発を進めている「TRK-950」について、胃癌患者を対象とした第II相臨床試験を米国、日本、韓国の3カ国での国際共同比較試験として開始予定。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	24年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レインターナショナル	3,265	2,851	-414	69	68	-0	
東レエンジニアリング	531	575	+44	21	19	-1	
東レ建設	146	192	+46	▲ 5	9	+14	
東レフィルム加工	205	184	-21	17	6	-11	
在東南アジア・子会社	繊維	868	766	-102	17	1	-16
	機能化成品	544	452	-92	▲ 13	▲ 8	+5
	その他	3	5	+1	0	0	-0
	計	1,415	1,223	-192	5	▲ 6	-11
在中国・子会社	繊維	1,554	1,418	-136	110	120	+10
	機能化成品	569	526	-43	49	39	-11
	その他	273	241	-32	27	26	-1
	計	2,396	2,185	-211	187	185	-2
在韩国・子会社	繊維	555	502	-53	▲ 9	▲ 12	-2
	機能化成品	702	818	+116	1	16	+15
	その他	210	177	-33	36	21	-15
	計	1,466	1,496	+30	28	26	-3

Ⅱ

2024年3月期連結業績見通し

2024年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、欧米でのインフレ・高金利による個人消費や設備投資の意欲低下、中国経済の足踏みや中東情勢の悪化により、回復ペースは緩やかなものに留まると見られる。国内経済も緩やかな回復が見込まれる。ただし、中国での不動産不況の深刻化、食料やエネルギーなど一次産品価格の不安定、そして欧米での持続するインフレに対処するための金融引き締めの継続等が内外経済の下振れ材料として挙げられる。

億円

		23年3月期 実績	24年3月期 見通し	増減		8月7日公表値	8月7日公表値 との差異
売上収益	上期	12,618	11,994	-624	(-4.9%)	12,000	-6
	下期	12,275	13,406	+1,131	(+9.2%)	13,600	-194
	通期	24,893	25,400	+507	(+2.0%)	25,600	-200
事業利益	上期	544	487	-58	(-10.6%)	450	+37
	下期	416	713	+297	(+71.4%)	750	-37
	通期	960	1,200	+240	(+25.0%)	1,200	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	591	289	-302	(-51.2%)	290	-1
	下期	137	421	+284	(+207.3%)	470	-49
	通期	728	710	-18	(-2.5%)	760	-50
基本的1株当たり 当期利益	上期	36.92円	18.03円	為替レート的前提 (10月以降) 140円/US\$			
	下期	8.56円	26.31円				
	通期	45.49円	44.33円				
1株当たり配当金	上期	9.00円	9.00円				
	下期	9.00円	9.00円				
	通期	18.00円	18.00円				
配当性向	通期	40%	41%				

セグメント別連結業績見通し

億円

		23年3月期実績			24年3月期見通し			増減			8月7日公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	5,090	4,902	9,992	4,812	5,078	9,890	-278	+176	-102	+142	-12	+130
	機能化成品	4,733	4,361	9,094	4,331	4,959	9,290	-402	+598	+196	-79	-141	-220
	炭素繊維複合材料	1,400	1,417	2,817	1,411	1,609	3,020	+12	+191	+203	-19	-41	-60
	環境・エンジニアリング	1,061	1,228	2,288	1,115	1,365	2,480	+55	+137	+192	-55	+5	-50
	ライセンス	259	279	538	248	302	550	-11	+23	+12	-2	+2	-
	その他	75	89	164	76	94	170	+0	+5	+6	+6	-6	-
	合計	12,618	12,275	24,893	11,994	13,406	25,400	-624	+1,131	+507	-6	-194	-200
事業利益	繊維	239	274	512	272	323	595	+33	+49	+83	+37	+18	+55
	機能化成品	251	53	304	145	265	410	-106	+212	+106	+5	-75	-70
	炭素繊維複合材料	56	103	159	76	129	205	+20	+26	+46	+6	-1	+5
	環境・エンジニアリング	83	115	197	102	148	250	+19	+34	+53	-8	+18	+10
	ライセンス	3	▲ 2	2	▲ 5	5	0	-9	+7	-2	-0	+0	-
	その他	10	15	25	8	17	25	-2	+2	-0	-2	+2	-
	調整額	▲ 98	▲ 141	▲ 239	▲ 111	▲ 174	▲ 285	-13	-32	-46	-1	+1	-
	合計	544	416	960	487	713	1,200	-58	+297	+240	+37	-37	-

セグメント別事業利益の8月7日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 8/7公表値→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	540 → 595 (+55)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい事業環境が継続するが、上期の業績改善に加え、価格転嫁の推進、コストダウン進捗による採算改善を見込む。 ・ PPSパンボンドは、需要低迷、供給過剰による価格競争の継続から苦戦を見込む。
機能化成品	480 → 410 (-70)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹脂・ケミカル事業では、ファインケミカルの一部製品で想定より市場価格が下がらず収益改善を見込む。 ・ フィルム事業では、PETフィルムで主要顧客の在庫調整が完了し、販売回復するも、その回復は緩やかなものとなる見込み。また、欧米子会社で欧米市場の需要低迷の影響を受ける見通し。 ・ 電子情報材料事業では、有機EL関連材料、韓国子会社の回路材料の販売回復を見込むも、そのペースが前回見通しを下回るものとなる見通し。
炭素繊維 複合材料	200 → 205 (+5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラージトウは、風力発電翼需要の停滞の影響を想定よりも受ける見通し。 ・ 固定費削減に加え、為替差、原燃料価格低下による採算改善を織り込む。
環境・ エンジニアリング	240 → 250 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水処理事業は、RO膜の2大市場である米中向け出荷などが堅調に推移していることに加え、原価改善、固定費削減を織り込んだ。 ・ エンジニアリング子会社は、半導体関連装置の販売拡大を主因とする増益を見込む。
ライフサイエンス	0 → 0 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回見通し通り。
その他	25 → 25 (±0)	
調整額	▲285 → ▲285 (±0)	
合計	1,200 → 1,200 (±0)	

III

參考資料

セグメント別四半期推移

億円

		23年3月期					24年3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
売上収益	繊維	2,258	2,832	2,757	2,144	9,992	2,238	2,574
	機能化成品	2,450	2,283	2,250	2,111	9,094	2,148	2,183
	炭素繊維複合材料	686	714	712	705	2,817	687	724
	環境・エンジニアリング	507	553	501	727	2,288	560	556
	ライフサイエンス	123	136	143	136	538	113	135
	その他	34	41	36	53	164	34	42
	合計	6,059	6,559	6,400	5,875	24,893	5,781	6,213
事業利益	繊維	87	152	157	116	512	109	163
	機能化成品	169	82	49	4	304	74	71
	炭素繊維複合材料	24	32	62	41	159	27	49
	環境・エンジニアリング	35	48	46	69	197	62	40
	ライフサイエンス	1	3	2	▲ 4	2	▲ 5	▲ 1
	その他	4	7	1	14	25	4	4
	調整額	▲ 48	▲ 50	▲ 57	▲ 84	▲ 239	▲ 52	▲ 59
	合計	271	273	260	156	960	219	268

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	23年3月期					24年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
樹脂・ケミカル	1,087	1,036	1,077	995	4,195	938	958
フィルム	886	816	760	753	3,215	794	812
電子情報材料	158	131	134	129	552	156	157
商事他	1,503	1,404	1,357	1,207	5,471	1,311	1,225
修正	▲ 1,184	▲ 1,105	▲ 1,077	▲ 973	▲ 4,338	▲ 1,050	▲ 969
合計	2,450	2,283	2,250	2,111	9,094	2,148	2,183

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	23年3月期					24年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
航空宇宙	124	133	158	170	585	178	217
スポーツ	95	102	97	81	376	68	67
一般産業	468	478	457	454	1,857	442	440
合計	686	714	712	705	2,817	687	724

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		23年3月期					24年3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
東レインターナショナル		1,506	1,759	1,778	1,385	6,427	1,364	1,486
東レエンジニアリング		238	293	272	349	1,151	271	304
東レ建設		74	73	69	186	401	103	89
東レフィルム加工		104	101	103	95	403	91	93
在東南アジア・ 子会社	繊維	404	464	430	376	1,674	357	409
	機能化成品	291	253	268	246	1,058	224	228
	その他	2	2	2	2	8	3	2
	計	696	719	701	623	2,739	584	640
在中国・ 子会社	繊維	641	913	803	479	2,835	645	773
	機能化成品	302	267	287	261	1,117	253	273
	その他	134	139	135	107	515	118	123
	計	1,077	1,320	1,225	847	4,468	1,016	1,169
在韩国・ 子会社	繊維	278	277	261	256	1,071	253	249
	機能化成品	381	321	311	329	1,342	397	421
	その他	104	106	96	103	409	88	89
	計	762	704	668	688	2,822	738	758

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		23年3月期					24年3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
東レインターナショナル		29	39	40	25	134	28	40
東レエンジニアリング		8	13	13	18	51	8	11
東レ建設		▲ 3	▲ 2	▲ 2	20	13	9	▲ 0
東レフィルム加工		11	6	6	4	27	4	2
在東南アジア・ 子会社	繊維	4	14	2	1	21	▲ 5	6
	機能化成品	7	▲ 21	▲ 10	▲ 5	▲ 28	▲ 5	▲ 3
	その他	0	0	0	▲ 0	0	0	▲ 0
	計	11	▲ 7	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 9	3
在中国・ 子会社	繊維	44	66	57	33	201	46	75
	機能化成品	24	25	22	17	88	19	20
	その他	15	12	10	6	43	15	11
	計	84	103	90	56	332	79	106
在韩国・ 子会社	繊維	▲ 6	▲ 4	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 0	▲ 11
	機能化成品	14	▲ 13	▲ 25	▲ 28	▲ 51	12	4
	その他	17	19	15	13	64	13	9
	計	26	2	▲ 18	▲ 20	▲ 10	24	2

ESGに関する社外からの評価

■ CDP

2022年12月



Water Security:A
Climate Change:A-

■ MSCI

2023年5月

MSCI
ESG RATINGS



■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2023年2月

Toray Industries, Inc.
Chemicals
Sustainability
Yearbook Member
S&P Global ESG Score 2022

68 /100

As of February 7, 2023.
Position and Score are industry specific and reflect exclusion
screening criteria. Learn more at [spglobal.com/esg/yearbook](https://www.spglobal.com/esg/yearbook)
S&P Global Sustainable1

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2022年12月

「Dow Jones Sustainability
Index(DJSI)」のAsia Pacific

2023 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2023年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2023年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。MSCIの独占的所有権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry